

**•Tackle Guide**  
 細い道糸は潮切れはいいが、反面オマツリによる摩擦でのラインブレイクも多い。無駄なノストを避けるために細過ぎる道糸はなるべく使わないほうが無難。船長のおすすめは4号だ。

**デカアジ出現で盛り上がる**  
 一人10尾前後のアジを確保したところで10分ほど南下した15メートルダチへ。「ビシ仕掛けの人は先バりにサバの切り身を付けてみてください。」この場所では大アジに交じりメダイやムツもヒットするそう。しかし、30分ほど流してみたら潮が澄んでいるためかアタリはなく、秋谷沖の110メートルダチへ。「デカアジの場所だからサビキの人もビシ仕掛けに替えてください。」そして「反応出てきたよ」

らない。手間はかかるが半身の刺身や酢じめにすると抜群にうまい。しばらくするとサバのアタリも出始めた。オマツリの元凶でもあるが、脂が乗ったマサバとあればリリースする人などだれ一人といない。あえてタナを高くしてサバを狙う人もいるくらいだ。



▲愛正丸のアジ五目は多彩な魚が狙えることで人気がある

# 多彩なゲストも魅力的 春のアジ五目は期待大!

●三浦半島葉山あぶすり発→葉山〜城ヶ島沖 本誌ABC(東京)権名義徳 Yoshinori Shimizu

今週末はナライ(北東風)がちよっと強く、場所によっては出船を見合わせるころもありそうな予報だ。しかし、釣行日が限られる週末アングラー、やっぱり釣りには行きたいもの。そこで今回は三浦半島葉山あぶすりの愛正丸のアジ釣りへ。

よほどの強風でも吹かなければ出船は問題なし。②タックルの準備も簡単。ほかの釣行予定が急ぎよ中止になったとしても、パバツと支度を切り替え出かけることができる。③そして何より釣果が連日安定していることだ。釣れるアジのサイズは中小交じりだが30〜40センチ級の大アジだけでも好日に当た

れば20〜30尾の釣果に恵まれることも珍しくない。

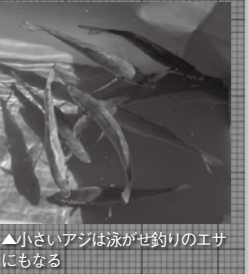
## 小アジも侮れない

釣行したのは2月中旬の3連休最終日。休日といえども連休の最終日というのは空いていることが多いのだが、当日は定員の18名と満員御礼。私は竿出しを控えることになったが、画撮りをするなら船上は賑わいあるほうがいい。皆さんにあいさつしながら船上を回ると、ビギナーでも気軽にチャレンジできる釣りとあってオールレンタルで人が7名。また6〜7名の人が食わせサビキ仕掛けをスタンバイしている。

基本はビシアジ釣りなのだが、愛正丸では食わせサビキや釣れた小アジの泳がせでブリ・ワラサ、カンパチ、ヒラメやビシ仕掛けの先バりにサバの切り身を付けてマダイやメダイ、クロムツ、カンコなどを狙うのもOK。おいしいアジに加えハッピーゲストも狙えるのであれば人気の理由も理解ができる。

## 仕掛けは多種類を用意しよう

大物ゲスト狙いも楽しめる愛正丸のアジ五目釣りだが、図に示した食わせサビキ以外にも胴つき1本バリの泳がせ釣りでも狙うことができる。ハリス8〜10号、1.5〜2メートル、ヒラマサバリ14〜15号。孫バリはなくてもOK。捨て糸は使わずダブルスナップで親子サルカンとオモリを直接接続することがポイント。サバの切り身でハッピーゲストを狙う場合は、根魚類だけならアジ仕掛けのままでもOK。マダイやメダイまで視野に入れるのであればハリス4号2メートル、マダイバリ9号前後の1本バリで狙うのがおすすめ。この仕掛けでデカアジも十分に食ってくる。



▲小さいアジは泳がせ釣りのエサにもなる

基本はビシアジ釣りなのだが、愛正丸では食わせサビキや釣れた小アジの泳がせでブリ・ワラサ、カンパチ、ヒラメやビシ仕掛けの先バりにサバの切り身を付けてマダイやメダイ、クロムツ、カンコなどを狙うのもOK。おいしいアジに加えハッピーゲストも狙えるのであれば人気の理由も理解ができる。

ここは小アジ主体ながらも数が出る場所。その小アジの群れに青物やヒラメが着いており、年末ごろはそれらが連日のように上がっていたとのこと。現在はそのピークも過ぎてしまったが、取材前日も食わせサビキで2.4キロのヒラメが上がったそう。船中あちらこちらでアタリが出始め、15〜20センチのアジが上がり始める。

▼マサバはいいお土産になる  
 小アジといえども侮るなかれ。脂の乗りは大アジにも劣らぬ。マサバはいいお土産になる。マサバはいいお土産になる。マサバはいいお土産になる。



## ▼春の濁り潮が入れば様子はさらに上向くはず



のアナウンスと同時に数名の人にアタリ到来。左舷3番の方、右舷胴の間のレイディアングラーさん、左舷4番の方が見事なサイズのアジを取り込む。それを皮切りに入れ食いとまではいかないが、釣れ上れば35〜40センチのデカアジばかり。一人また一人と笑顔がこぼれる。このサイズとなれば刺身はもちろんだが、半身のフライをぜひ食してほしい。絶品ですよ。左舷胴の間のビギナー3人グループの工藤さん、今村さんもデカアジをゲット。後藤さんに至っては釣りそのものが今日が初めてという超ビギナー。仕掛けのセット、リールの使い方すら分からずからのスタートだったが、私

**●船宿information**  
 三浦半島葉山あぶすり  
**愛正丸**  
 ☎090-3683-0914  
 (詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=アジ五目乗合一人1万円  
 (予約制、コマセ、アカタン、サバ切り身エサ付き)  
 ▶備考=予約乗合。別船アマダイ、深場根魚五目も毎日受付。  
 水は漁協販売所で購入。(300円)

飯田 孝弘船長

ますます速くなる潮とサバの横走りによるオマツリでバラシも多いが、アジは上がればデカサイズ。だれ一人として竿を置くことなく、黙々とコマセを打ち返す。午後2時となり、ここでタイムアップ。アジの釣果は大小交じりでいい人で20尾ほど。良型のマサバは5〜6尾。お楽しみのおまもろ狙いはマトウダイが1尾のみだった。水温低下と澄み潮、速潮と三重苦に大苦戦した一日となつてしまつたが、潮が直れば普段どおりの釣況に戻るだろう。これから春シーズン、濁った春潮が入ってくればさらに釣況は上向くので、大いに期待したい。